

子どもの祭典



編集兼発行人 朝日町役場 印刷所 河越印刷 定価六円 送料六円

ボーイスカウト準富山県大会

七月二十九日午前十時、県下の泊
駅前にはボーイスカウト一色にうづめ
られた。

午前十一時、村口本部長の出発、合
にボーイスカウト三百名が、大団旗に
続き、早知事吉田連盟長を先頭に、西は
城端町から東は朝日町に至る県内参
加団十八が、鼓隊のうち、鳴す太鼓に
歩調もとり、大会会場小丸山公園に
向って延長三百メートルの道を展
開した。

栄町、荒川通り、水町を
経て、温泉町まで、日の丸の
小旗を打ち振る、万国旗
をかかげ、白の幟幕を張
り、しきりと舞い落ちる紙
吹雪、町をあげての歓迎
の中を感激と感謝に満ち
てスカウトの進行がう
ち進む、役場前で吉田連
盟長、金川野営長の検閲
を受け、町の人たちの歓
呼に送られながら、十一時
五十分、大会会場小丸山公
園に到着、直ちに開会式
が行われ、国旗掲揚、金
川野営長の力強い開会の
挨拶、吉田連盟長、山崎
助役からの祝辞、スカウ
ト代表者の「この三日間、しつかりが
んばります。」と若さあふれる宣言
が行われた。

城山に子どもの祭典

泊婦人会の奉仕する冷いお茶で、湯
いた喉をうるほしながら、あらため
て人の心の温さにひたりつつ中食を
とった。一時二十分、急々大会会場城
山に向って出発、ここに県下ボーイス
カウト三日間の猛訓練が始まった。

城山に到着、休む間もなく天幕設
営、丈なす草の城山も一刻にしてた
ちまち六十六張の天幕村が出現し、本

丸から見おろす風景はまことに見事
であった。楽しい中にも厳しくはげ
しい訓練が続けられ、多大の成果と感
銘を与えながら、二日間ともに過し
た城山を撤収し、名残を惜みながら、
三日目の朝第二の訓練場、宮崎海岸を
目指し、ハイキング下り、自然博物館
に到着、九里館長より自然博物館の
解説に耳をかたむけた。

最後の訓練は水泳技術、水難救助
人工呼吸法と、焼けるような土用の浜
辺で実施された。中食の名物たら汁
にはスカウト一同舌づつみを打って
喜こんだ。閉会式は鹿島神社境内で
行われ、川上教育長の閉会の挨拶、
金川野営長からこの三日間スカウ
トに寄せられた町民の好意に対し心
からの謝辞がのべられ、野営長の主唱
で朝日町の栄を謳え、高らかに三唱
し、ここに三日間に亘って行われた子
どもの祭典はしづかに閉ざされた。

みんなでなくそう

夏の犯罪

夏には海水浴や花火大会、盆踊り
などの納涼諸行事が、つきものである。
人の大勢集まる場所には町の不良
や悪連隊が喧嘩やたかりのチャン
スを求めて当然のように集まってきま
す。もともと彼等は最初からこうし
た催しや場所を喧嘩やたかりに利用
しようとするわけではなく、ほん
の些細なきっかけから暴力犯罪が起
こるといのが実情です。

しかも夏は一年中で最も犯罪の多
い季節です。
では、どうしたらこのような暴力
犯罪を防ぎ追放することができるで
しょうか。

第一、隙のない態度、服装をする
こと、人混みを離れた一人歩きを避
けることです。

次に、どんなことがあっても相手
の挑発に乗らないことです。

警察は暴力団の検挙に本腰を入れ
て活動しています。どのような場合
でも、被害の有る無しにかかわらず
暴力犯罪行為のある時は必ず附近の
駐在所、派出所又は警察署へすぐ知
らせて下さい。

暴力犯罪を追放するには地域ぐる
み一体となってお互いに犯罪撲滅の
ために協力し合うことです。

(入善警察署)

旧軍人軍属の

戦時加算が復活

第三十八通常国会に於て恩給法が
一部改正されて旧軍人軍属の戦時加
算が復活しましたので給権者は各地
区の役員の方或は役場に相談下さい

(1) 加算地域と程度

満洲支那台湾樺太朝鮮南洋群島関
東洲南方諸地域小笠原諸島千島な
どに加算が認められ昭和二十年九
月二日をもって加算が打ち切られる
内地及び抑留期間は実役のみ

(2) 権利取得年数

実役と加算年数をあわせて兵下士
官は十二年准士官将校は十三年と
し昭和三十六年十月一日を権利取
得日とする。

(3) 支給の始期

扶助料は昭和三十六年十月一日普
通恩給は昭和三十七年十月一日

(4) 請求の手続

富山県軍人恩給権擁護連盟より加
算の法律手続等に関し説明会を実
施いたしますから当日出席のこと

八八、三五二俵に

米の供出予約

昭和三十六年度米の予約売渡し申込みが七月以来農家と集荷業者の間において行われたが、七月末現在で次のとおり的好成绩を見ている。

昭和三十六年度米予約売渡し申込数

農協別	予約数量	35年予約数量	比率
山崎庄保庄	16,621俵	16,090	103.3%
山崎庄保庄	36,633	33,316	100.9
山崎庄保庄	14,147	12,922	109.5
山崎庄保庄	10,800	10,400	103.8
山崎庄保庄	7,693	7,500	102.6
山崎庄保庄	274	222	123.4
山崎庄保庄	1,902	1,795	105.9
山崎庄保庄	282	388	118.5
合計	88,352	85,352	103.4

NHKラジオのつどい

- 一、主旨 ラジオ テレビジョンを通じて文化の向上に資する
- 二、主催 朝日町、泊郵便局、朝日保健所、朝日町連合婦人会、北陸電力富山県ラジオ・テレビ電機組合連合会、NHK富山放送局
- 三、日時 八月十九日(土) 午前十時~午後四時
- 四、場所 泊高等学校

五、実施事項	実 施 事 項	内 容	担 当
NHK展示会	AM10.00~PM4.00	①放送番組写真展 ②NHKテキストの展示	NHK
テレビ・ラジオ相談所	AM10.00~PM4.00	①テレビ・ラジオの故障修理と雑音相談 ①テレビブラウン管の清掃 ②不良電気器具修理	泊地区ラジオ商 北陸電力 NHK
主婦のつどい	PM1.00~3.00	①テレビのつどい(教育TV PM1.00~1.30母親から教師から) ②育児相談(小児マヒ対策について他)	朝日町教育委員会 朝日町連合婦人会 朝日保健所 NHK
NHK公開録音	PM3.00~4.00	民謡ひのき舞台	NHK

商工会だより

現在全国的に中小企業者の頭を悩まして求る求人難問題が一段と深刻さを加え、特に中小商店では、求職者が皆無と云ってよい程に頭痛の種となっている。

その上、既従の店員や工員が集中的に大企業に移って行く傾向が強くなっており、中小企業者は倒壊寸前と云っても過言ではないくらいに深刻な問題となっている。

然し乍ら、このような重大な問題に対して何ら為すところなく年月を待てた今日、一つの打開策ともいえるべきものとして、今後大々的に取り上げられようとしていることは、家族或いは店員福利厚生者の増進、謂ゆるその施設の加入促進によって店員或いは工員の把握を堅実にならしめることである。これは労務管理という角度から積極的に打ち進めなければならないポイントとなっている。

休日制の拡充を

殊に、ここで表面化している問題として休日制の問題が挙げられる。労働監督監督でもこの問題について再三検討しているし、又各市町村でも着々と実施されつつあります。県下における商店街地域団体の一斉休日制の実施状況は全体の七割弱で月一日乃至二日の休日制を実施しているが、これ等の地域は今後も週休制の拡大、充実に踏み切ることが打ち出している。

当朝日町においては休日が各町内毎に異なり、次のような区分となっている。

橋向町、本町、桜町 二十日
荒川、道下 二十一日

中町 二十二日
下町 第三日曜

右のように四種に区分されているが、この他に業種団体別の週休制もとられている。

未実施の町内の一部では、もっと理想的に休日制が区分されるならば実施しようという所もあり、休日制の統一化が重要な課題となっている。魚津労働基準監督署においても、泊町の場合、道路図に従い、二分化つまり縦横の線に分けて推進したらどうかとの案を出しており、各町内会或いは商盛会単位に検討、協議して早急に実現させるべきと考える。

児童クラブを

どう育てるか

三校PTA懇談会

七月二十四日午後大家庄小学校で山崎、南保大家庄のPTA懇談会が開かれた。これは同じ小川中学校下のPTAとして共通の問題とそれぞれ校下の特殊性を討議する趣旨で昨年発足した今年第二回のものである。

当日は三校PTA約七十名、町教委野村主事関係児童委員児童クラブ関係者多数が参加した。会議は大家庄校大井育成会長の司会で「児童クラブの育成、夏休みの生活指導、その他」について活発な意見が述べられ野村主事の適切な助言があり充実したものであった。内容を紹介すると

- ◎児童クラブの育成、大家庄校下、山崎の坂本氏舟川新の藤井氏柳田の菅田さんから育成の苦心が発表された
- (1)自分の子だけでなく全体の子をよくするよう母親の結束した力がクラブをつくる原動力になる。
- (2)子どもの自主性を尊重し子どもの中へとびこんでいくよい指導者が必要である。

- (3)役員は部落で選挙したものや学校で選挙した生徒会役員とちがうところがあるので調整を要する。
- (4)小学校一年から中学三年まで年齢層の巾が大きいので事業と運営はむづかしい。全体活動と併行して部落活動を実施し全員が意欲的に活動するようにしたい。
- (5)経費は下山新では一万六千円、舟川新では十数回の歴史をもつ運動会だけで八千円、クラブ員の会費、労力奉仕等による自主財源もあるが部落や団体からの補助がほしい



◎夏休みの生活指導

各校長からその方針が述べられこれを中心に討議

◎その他

- (1)大家庄南保両校にプールがあるが山崎校にない。是非山崎校にもプールの施設がほしい。
- (2)大家庄小学校では今秋八十八周年記念事業を計画している。昨年実施された南保小学校の概況が説明された。

朝日町議員団プロフィール

~ 5 ~

① あなたの趣味や娯楽は何ですか
終戦の当時あなたはどこで、どんなことをしていましたか
② 今までに最もうれしかったことはどんなことでしたか
③ 結婚改善が叫ばれても少しも改められない原因は何でしょうか
④ 朝日町発展の根本対策を一つだけあげて下さい
⑤ 戦後強くなったものは女性と靴下だといわれますが、あなたの御夫人はどうですか
⑥ 最近の十代青少年の動向に対しどのように考えられますか
⑦ 左の七項目について議員諸氏にアンケートを求めました(議席順)



議員名 近藤栄之助
住所 桜町
所属委員会 総務委員会

① 人並みになんでも好きである。強いて言えば旅行
② 京城の朝鮮鉄道本局に出張中終戦の詔勅を聞いた。
③ 三年前の町議選挙で誰でもが気軽に出来る世代になったとき。
④ 親の見栄とかその家庭によっては子供の虚栄等もあるが、まだまだ結婚改善の切実性が一般に浸透し



議員名 上島栄作
住所 泊
所属委員会 厚生委員長

⑤ 町に健全財政の確立が基本である。そのためには観光・電源開発・或いは工場誘致など種々ある。
⑥ 戦前戦後を通じ変わっていない。何の制圧もないから一般にのびのびとしている反面、善行悪行が極端でビート族等もその例、教育の水準向上、社会保障制度の拡充等が急務である。

① 酒、狩猟、麻雀、語り合うこと
② 泊町で土木建築請負製材業並に芸妓置屋兼料理屋を経営していた。
③ 現町議は四期なるも初期において当選し町民の信頼を得たとき。
④ 老若男女が一体となった真剣な話し合いに欠けているから。外見的な虚栄心も原因の一つ。
⑤ 電源開発、観光(特に温泉)の建設、大工場の誘致
⑥ 戦前戦後を通じて変わらない。
⑦ 堅実な思想と知識を持たない彼等を育成する大人の努力と関心の充実が先決。



議員名 西井 栄
住所 山崎新
所属委員会 建設委員会

① 専ら晴耕雨読、時には書画、骨董、尺八、麻雀にも手を出すことがある。
② 近衛電信隊より関東軍を経て台湾軍に転属、嘉義農林学校に駐屯、軍司令部へ出張中台北郊外にて終戦の詔勅を賜る。

③ 戦争が終って帝國陸軍から解放され、死んでも帰れと励まされた泊駅へ無事に帰り、駅前広場の見覚えのある玉砂利を踏みしめたとき
④ 結婚よりも生活様式の改善が先決。特に貧富の差、公平なる富の分配が解決されない限り結婚改善の実現も望めまい。背伸びしなくとも国民望ましく一定のレベルに達すれば虚栄、虚飾で浮遊する改善のアドバンスも姿をひそめるでしょう。
⑤ 有権者の自覚にあり、自分の投する一票は朝日町の前途を決定的なものにならしめるから、電源開発にしる工場誘致にしる、或いは観光開発や農地の保全にしても最早や単一目的での開発は経済的に行き詰まっている。広く人材を求め便益に見合う多目的の開発即ち総合開発方式で地の利、水の利、人の和(わけもなく)とびつく安易な妥協の意味ではない)を求め、無限に潜在する遊休資源を活用すれば発展の道はおのづから拓ける。
⑥ 私どもへのアンケートとしてはま



議員名 柚木文次
住所 泊
所属委員会 厚生委員会

ことにお下劣な質問である。靴下に比較された女性の抗議を受売りするわけではないが、正気の沙汰では解答ができないから、単なるニモラスとしてお答えする。残念ながら戦後の結婚で戦前に比較してお答えできないが、ネームプレートでは大正十一年の製造となっているから、戦後派をサールナイロンと称するならば、戦前派は混紡に類すると御披露申し上げた方が適切でしょう。
⑦ 年代のづれから多少の偏見もあるかと思われるが、時代の流れに便乗し己れを粗末にしすぎる傾向が戦前よりもたしかに余計なようである。戦後家族制度がくずれ社会的責任もないとは云えないが、社会の進歩は人間生活を益々個人単位に堀り下げて行くと云う矛盾した倫理を理解され、お互いに一段の自重が望ましい。

① スポーツ(今では専ら見たたり聞いたりするだけです)
② 山崎小学校に奉職していた。
③ 終戦直後前途全く暗澹、極度に不安であったものが、現在の姿にまで国力が伸展したこと。
④ 精一杯してやりたいという親心と体裁にとらわれる気持
⑤ 電源開発
⑥ デモクラシーを強いて意識してのものではありません。

夏の少年たちを守ろう

少年輔導センター開設さる

去る六月二十九日青少年対策の現場輔導の一端をなすべく本町町長が委員長となり朝日町少年輔導センターが誕生した。

センターは町の教育委員会におくことになっていてが輔導員の集会は泊警察官派出所に定め事務局は教育委員会に置いて互いに密接に連絡をしながら活動を展開している。

輔導員は八〇名でその構成内容は小中高校、防犯組合、町内会、社会福祉協議会、青年団、婦人会、ボイスカウト、教育委員会等関係機関団体から推進された人たちであって七月二十五日より八月三十一日までお盆の一四、一五、一六日の三日を除いて毎晩七時三〇分から一〇時まで二名の輔導員と一名の警察官が同伴のうえ泊町を中心として現場輔導と事故防のためパトロールしております。

またこの期間をとおして各地区においても地区の輔導員を中心とし関係団体と緊密な協力のもとにいろいろの行事を重点に少年を守る運動を展開することになっております。

このセンターは卒業期、夏休み、年末年始を重点として街頭輔導や少年相談等の業務を年間とおして行うことになっております。

町民の皆さんも少年たちを正しくすこやかに育てるためにこぞって御協力下さるよう切にお願いする次第であります。

◇幼穂形成期以後の水管理

幼穂形成期に入れば穂は逐次水に対する要求度が多くなるし、窒素その他肥料要素もまた吸収利用される割合が増大する従ってこの時期から出穂開花期にかけてなるべく灌漑水を確保しなければならぬ。

しかし形成期に入ってからとすぐ深水中水を切らしてはいけなくこの頃から極端な土壌乾燥は穂の生理上好ましくなく被害を受け易いからだということである。

穂が生れて出穂するまでの間にモミ数やモミの大きさ等大事な収量構成要素が次々にきまる時期だから穂の发育や生理に支障を与えないようにむしる順調な生育をさせるように管理しようと呼ぶわけである。

農事教室

干しによって穂の生育をよく出来る見通しのときは実行してもよい。温田、半温田の灌水は高温により根ぐされ発生となり稔実を害することになるから水をかける期間より落水田干の期間が長い方がよい結果になる。

水をかける方法は土壌により異なるも三日に一日又は二日落水田下し水の入れかえのとき一日二日田干しの方法がよい。又盛夏期田の水温が高すぎると穂の生理機能を害し易い(三二度C以上)。

特に夜温が高いと呼吸消耗が大きくなり炭水化物蓄積上不利であるといわれるが株間に光が通らない位葉葉が繁茂すると田水温も上り過ぎるおそれ比較的小さいと思われる(日中)この点お互に水温地温調べをしたい。

のです。尚落水は出穂後二十日目頃からのよい。特に乾田の早期落水はよくない。

◇稲の適期刈取りと乾燥

米が余る時代となり農業は商品生産で量産より質産でなければもうからない農業になった。

米質をよくするには第一に米質のよい品種を選ばすべしであるが地力増強、三要素の均衡、間断排水などにより稲の健全な发育をはかると共に病虫害を適期に防除し、しいなや病虫害の被害粒のなきよう留意したい。

ものである。刈取りの適期は穂の梗が黄化し、たときです。それからそれより早目とし刈りおくれしないよう雨の日のあることを考えて計画すること。

刈りおくれになると胴割米を多くし、穂発芽や落穂となり品質低下減収となることが多い。

刈取りに降雨が多いときもありますので乾燥が大きく米質を左右するので乾質米にならぬよう、又強い天日乾燥は胴割米の発生を多くし揚漉りの原因となつて商人に嫌われるので籾の反転に注意しビニール日覆乾燥や通風乾燥機の利用を考えていたきたい。

(朝日農改普及所)

健康・長寿と貯蓄

古い諺に「一時は金なり」という句がある。

レジャーを楽しむ消費ブームに湧きたつ今日、ピント外れなと一笑されるだろう。しかし一分間一万数千円を稼ぐ社長から八十銭を稼ぐ人夫

に至るまで、全く「一時は金」である折角得た金でレジャーを満喫する

のも結構、しかし勤儉貯蓄などという厳しいことをいう堅人でもないが、お互い分相応の生活をし、不時に備えて蓄えてこそ日々の生活に潤いもできるのではなからうか。健康と長

寿は誰もが最も願うことです。その条件としては、身体的なもので、胃腸病、そして事故や自殺に至るまで、もとを正せば神経やホルモンの働きの乱れであり、つまり心の乱れから起こるからです。

つまり、誰もが金の心配のない事が健康、長寿の大きな条件です。弛まぬ計画的貯蓄こそ、身心共にゆとりも出来、明朗な家庭も築くことができるのである。



境地区簡易水道完成

昨年九月から着工された境地区簡易水道が完成した。これは各戸の給水の便は勿論であるが、特に消火栓の威力は他の簡易水道につけられたものの比ではないとのことである。

学習の上に立った活動を

第二回青年問題研究集会

朝日町連合青年団主催の第二回青年問題研究集会が七月二十二日、二十三日の二日間に亘り、朝日町六校下の青年団員三十名が参加して行われた。

この研究集会の目的は、変転する現代社会の中で青年団活動はどうあるべきか、そして変りゆく社会情勢を我々はどうのとらえ、どう実践に発展させていくかを掘り取るうとするところである。

第一日目の二十二日は、林県青協事務局長の「中共を視察して」の演題で中国における青年活動の実体を中心にした報告とレクリエーションでおわり、第二日目は米屋元県青協会長の「学習活動の進め方」についての講義のあと、林、米屋両氏、亀田県青協副会長、野村朝日町社教主事、中島元朝日町連青団長を助言者に分科会が開かれ、「サークル活動の進め方」、「青年学習の進め方」、「女子活動の進め方」の三つの課題について活発な討議が行われた。

各分科会の要旨次のとおり

サークル活動の進め方
サークル活動は単なる趣味的なものに止まるべきでなく、その活動を通じていかにサークルを向上させ自己を高めるかという研究的意欲が必要である。

又狭い地域にばかりとしこもらずもつと視野を広くして、大きな大会にも参加し、それから得たものを自分達のサークル活動に生かして行くべきである。

青年学習の進め方
青年団活動は青年が学習したこと

を下積みとした上に立つものではない。学習は実践を伴ったものでなければならぬのである。

先づ、現在社会情勢はどのようなで、我々の住んでいる地域が今どのような地位におかれているかを知らなければならない。

そしてそのような社会情勢のもとで、我々の周囲にはどのような問題点があるかを把握して、その問題を研究分析し、その結果得たものを実践に生かして行くことが真の学習である。

女子活動の進め方
現在女子の発言率は非常に悪い。これは、女子が活発に発言すると周囲が特別な眼で見ると、思っていることも云えなくなるといふことが大きな原因になっている。

このような場合、男子は女子が発言しやすい雰囲気を作ってやるべきであり、又周囲の批判に対しては、これを打ち消してやるような心意気が欲しい。

又、団活動が夜遅くまでなるようなことがあるが、このような場合開始時間の厳守と、帰る時は男子が安全な方法で送ってくれるような配慮が欲しい。

この後全体討議の時に、現在一つの曲り角にきている青年団の問題点を追求し、より良い青年団活動への道を開く目的で、青年問題研究会を近く発足させることが決定された。

この研究会は、青年団OBを中心に構成され、側面から助言、指導を受けようとするものである。